

いつも、人から。そして、心から。

第 51 回外国人による日本語弁論大会で 本学職員 金徑希さんが文部科学大臣奨励賞を受賞

平成 22 年 6 月 5 日(土)に新潟市で開催された「第 51 回外国人による日本語弁論大会」に本学の国際交流・留学生支援センター職員の金徑希（キム ギョンヒ）さんが出場し、文部科学大臣奨励賞を受賞しました。

1. 「外国人による日本語弁論大会」の概要と受賞の経緯

財団法人国際教育振興会、国際交流基金と開催都市の主催により、外務省、文化庁、NHK等の多数の後援、企業協賛のもとで、多くの外国人が日本語を話すことにより日本人および日本に対する理解を深め、わが国との友好親善、相互理解に寄与することを目的として 1960 年より毎年開催されています。

今回は全国から 26 カ国／地域 104 名の応募があり、予選審査を通った 8 カ国 12 名の方々が出場。外務大臣賞・会場審査員賞、文部科学大臣奨励賞、主催団体特別賞の 3 賞のうち、文部科学大臣奨励賞を金徑希さんが受賞しました。

なお、大会の様子はNHKで放送されるほか、出場者のスピーチは中学校、高等学校の教科書にも利用されています。



2. 受賞者略歴

氏名：金徑希（キム ギョンヒ）（※本来の「徑」は人偏）

所属：長崎国際大学 国際交流・留学生支援センター職員

経歴：韓国釜山市出身

1998年 韓国 仁済大学校 人文社会科学学部日語日文学科卒
日本文学を専攻

2001年 来日

2001年 長崎国際大学 入職

2002年 長崎短期大学 非常勤講師（韓国語）（現在に至る）

2004年 長崎県教育庁生涯学習課「ながさきまなびネット」に講師登録

2008年 長崎国際大学 国際交流・留学生支援センター勤務

留学生支援と海外大学との交流業務を担当。その他、市民講座の韓国語講師として登録するなど、韓国の文化を日本に広げていく活動も精力的に行っている。

3. 弁論の概要

テーマ:「私の韓国語奮闘記」

スピーチでは、長崎県内の様々な所で韓国語や韓国文化を勉強している地域の方々と交流を深めている様子を、長崎弁を交えながら紹介。言葉を通しての日韓両国の友好に役立つように努力していきたいとの抱負を語る。

4. その他

- 大会の様子は、NHK教育テレビ「ETV特集」で放送予定
(放送予定日:7/18(日)午後10時～11時30分)

- 大会ホームページ

財団法人国際教育振興会

<http://www.iec-nichibei.or.jp/>

※ トップページ>INFORMATION よりリンク

国際交流基金

<http://www.jpf.go.jp/>

※ トップページ>お知らせ>日本語教育よりリンク

長崎国際大学は平成22年に10周年を迎えました。
人間尊重を理念に、文化と健康を大切にする社会の実現に
引き続き貢献して参ります。

【この件に関するお問い合わせ】

長崎国際大学 教育改革推進室(担当:松永・安部)

TEL: 0956-39-2020 ☎: kaikaku@niu.ac.jp